



## ワークスタイル変革って本当に必要？

少子高齢化で労働人口が減っていく中、育児や介護で社員の離職のリスクが高まっている。さらに、追い打ちをかけるように、2020年には団塊世代が70代に突入し、要介護者が急増する事が見込まれる。企業にとって、中核的存在となっている団塊ジュニア世代（現37歳～43歳）の離職への対策が急務である。インテリジェンス ビジネスソリューションズでは、導入コンサルから導入、定着率コンサルまで、ワンストップで企業の立場に立ち、オーダーメイドのお手伝い。途中で諦めてしまう前に、お気軽にご相談ください。



### そもそも、ワークスタイル変革って何？

テレワークと呼ばれる在宅勤務は自宅での勤務ですが、自宅に限らずオフィスやオフィス以外での、場所と時間に縛られない働き方が『ワークスタイル変革』です。

### 実は失敗が多いって本当？

国土交通省平成25年度テレワーク人口実態調査によると、在宅型テレワーカー数は2012年から約210万人減の約720万人となっています。

### それなのになぜ導入するの？

リスクを取っても余りあるほどの大きなメリットが期待できるからです。

### テレワークを導入すると、ワークライフバランスが取れなくなるって本当？

労働をする「時間」と「場所」の制約が無くなってしまい、いつでもどこでも仕事ができる環境により、常に細切れの仕事をする事になり、仕事と生活が常に業務と接続している状態になってしまうからです。

### どうすれば成功するの？

単なる仕事の仕方という側面だけで捉えるのではなく、何のために導入するのか、仕事の目的から見極めを始め、目的を達成する手段として推進する事が成功への近道です。

何から始めたら  
良いのかわからない



まずは、就業規則の確認と基本機能（コミュニケーション機能）の導入から検討しましょう。

期待できる導入効果

- ・企業イメージの刷新
- ・顧客対応スピードの向上
- ・時間と場所に制約されない
- ・コミュニケーション品質の向上
- ・社員スキルの向上
- ・直行直帰によるお客様先への訪問件数の増加
- ・災害時でも自宅で業務可能

プレゼンス（在席確認）/Web会議

連絡可能 会議中 退席中 オフライン



テレワークの導入でコスト削減を実現  
（モバイル勤務、在宅勤務、サテライトオフィスなど）



期待できる導入効果

- ・出張、移動費用の削減
- ・オフィススペース費用、通勤費、人件費の削減
- ・節電によるCO2削減
- ・BYOD（個人端末の利用で経費削減）

すぐに  
費用対効果を出したい



テレワークは  
導入してみたけど、導入効果  
が出ない



導入済みの機能を見直しましょう。新しいワークスタイルで働く文化の啓蒙を定着率コンサルがお手伝いします。

期待できる導入効果

- ・働きながら子育てが可能に
- ・柔軟な働き方による有用・多彩な人材の獲得
- ・プライベート時間の創出によるワーク・ライフ・バランスの実現
- ・介護をしながら業務継続が可能に



別紙「ワークスタイル変革ソリューション」リーフレットをご覧ください。



どんな  
メニューがあるのかわかりたい



従業員300人  
以下の  
企業である



厚生労働省の職場意識改善助成金（テレワークコース）が利用できる可能性があります。導入検討の際お気軽にご相談下さい。

